

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. 743・744 September・October 2020

大原社会問題研究所雑誌

743・744 2020.9・10

Special Issue : The Symposium Commemorating the ILO's Centenary: The 32nd International Symposium on Labour Issues

Introduction to the Special Issue	FUJIWARA Chisa
Opening Remarks	SUZUKI Akira
Report on the 108th International Labour Conference.....	TAGUCHI Akiko
Keynote Speech: "ILO and Japan"	AGO Shinichi
ILO Convention No.1 and Working Time Issues	ISHII Satoshi
The Issue of Selecting Labour Representatives at the International Labour Conference in Pre-war Japan and Ohara Institute for Social Research	ENOKI Kazue
Panel Discussion	

Lecture

Historical Implications of Movements Demanding the Suspension of Ashio Copper Mine's Operations for the Current Movements against Nuclear Power Plants	SUGAI Masuro
--	--------------

Book Reviews

HYOUDOU Tsutomu, <i>Live in Postwar History</i>	WOO Jongwon
TAKASHIMA Shuichi, <i>A Technological and Social History of Urban Railways in Tokyo</i>	SUZUKI Jun
KURUMADA Tadatsugu, <i>The General Electoral System in the Prewar Era of the Showa : The Chiba First Electoral District and Shojiro Kawashima</i>	KANDA Akifumi
INOUE Ema, <i>Comparing Youth Services in Japan with Those in England: From the Perspective of Social Capital</i>	ABIRU Kumi

Annual Report of the Ohara Institute for Social Research

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting

The Institute's Activities in May and June 2020

【特集】第32回国際労働問題シンポジウム

ILO(国際労働機関)と日本——100年の歴史と仕事の未来

特集にあたって	藤原千沙	1
主催者代表挨拶	鈴木 玲	3
第108回ILO創設100周年記念総会について	田口晶子	5
基調講演 ILOと日本	吾郷真一	8
ILO第1号条約と労働時間問題	石井 聡	20
国際労働会議代表問題と大原社会問題研究所 パネルディスカッション	榎 一江	31 41

■講 演

鉱業停止要求と原発拒否 ——足尾銅山の鉱業停止運動の 現代的意義としての反原発運動	菅井益郎	49
--	------	----

■書評と紹介

兵藤 釗著『戦後史を生きる』	禹 宗 杭	68
高嶋修一著『都市鉄道の技術社会史』	鈴木 淳	73
車田忠継著『昭和戦前期の選挙システム』	官田光史	77
井上慧真著『若者支援の日英比較』	阿比留久美	81

法政大学大原社会問題研究所2019年度の歩み		86
社会・労働関係文献月録		106
月例研究会	立本紘之	108
所 報 2020年5・6月		109

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site: <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
法政大学大原社会問題研究所
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価(本体1,852円+税)
年間購読 12,000円(税込)

発 行 / 法政大学大原社会問題研究所

発売所 / 法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2020年版 第90集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

【序章】 政治・経済の動向と労働問題の焦点
〈特集1〉 『日本労働年鑑』の100年

—時代を反映した構成の推移
〈特集2〉 社会保障制度とその財源
—格差縮小による経済成長と
財政赤字のもとでの社会保障
財源の確保

- 第1部 労働経済と労働者生活
- 第2部 経営労務と労使関係
- 第3部 労働組合の組織と運動
- 第4部 労働組合と政治社会運動
- 第5部 労働・社会政策

〈付録〉 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計 / 年表

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)

アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦
します

本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税
A5判・上製・544頁

70th ANNIVERSARY 旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No.722 2020年9月号

定価 852円+税 年間購読 11,244円(税込)

特集「専門・管理職の女性労働」

- 提言 日々の実践に潜むバイアスへの意識を 鶴沢由美子
- 論文 女性研究者のキャリア形成とワーク・ライフ・バランス 篠原さやか
情報処理通信技術分野の女性労働の実態と女性労働拡大のための考察 平田 貞代
超高齢社会におけるジェンダー化された職業としての看護職
—その現状と働き方 佐藤 典子
女性医師の活躍を阻むものはなにか 深見 佳代
社会福祉士の労働状況—女性労働者に着目して 白旗希実子
女性教員のキャリア形成をめぐる諸相と教員育成政策の今日的課題 木村 育恵
- 書評 島田陽一・三成美保・米津孝司・菅野淑子 編著
浅倉むつ子先生古稀記念論集『「尊厳ある社会」に向けた法の貢献』 櫻庭 涼子
- 論文Today 私に今必要なのは仕事！—ペアレンティング・エデュケーションにおける
行動主義的ソリューションと構造的課題、そして隠れたカリキュラム 柳 煌 碩
- フィールド・アイ ニューヨークのロックダウンを経験して (ニューヨークから①) 大理事穂子

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
☎ 03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2020年7月号/8月号/9月号
75巻7号/8号/9号

定価 1,200 円(税込)
年間購読 13,000 円(税込)

- 7 【特集】 労働組合の社会的役割と未来
◆チッソ労使関係史から見えてくるもの—責任ある労働運動が拓く地域社会の未来/石井まこと
◆両立支援から女性活躍へ：これからの労働組合/池田心豪◆労働組合という選択肢—身近な労働組合の可能性/本田一成◆コーポレートガバナンス改革と労働組合の存在意義/麻生裕子◆他
- 8 【特集】 新型コロナウイルスと新しい労働生活(1) 人間工学の奇与
◆実践科学として社会に貢献する人間工学/吉武良治◆コロナ危機に人間工学ができること/下平義弘◆在宅ワーク・在宅学習で実践できる7つの人間工学ヒント/松田文子◆コロナ危機対応で広がる人間工学の応用と工夫/八木佳子◆With/Afterコロナにおける教育現場の実践/加藤麻樹◆他
- 9 【特集】 新型コロナウイルスと新しい労働生活(2)
ウィズ・コロナで問われること
◆パンデミックの歴史が警告するもの/濱田篤郎◆新型コロナの仕事や生活への影響と課題/渡邊木綿子◆新型コロナ影響下の教職員の労働実態とその課題/藤川伸治◆新型コロナウイルス感染症と安全衛生・労災補償/天野理◆ごみ収集作業への市民の感謝が意味すること/藤井誠一郎◆他

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
TEL: 03-6447-1435 FAX: 03-6447-1436 HP: http://www.isl.or.jp/